

## 道路事業事前評価調書

路線・河川等名	一般府道 <small>ちょうほうじむこう</small> 長法寺向日線 今里Ⅱ	事業名	防災・安全交付金事業	補助・単独の別	補助
事業主体	京 都 府	事業箇所（区間）	<small>ながおかきょう いまざと</small> 長岡京市今里地内		
事業概要	目的	一般府道長法寺向日線は、長岡京市と向日市を連絡する、地域の生活道路として重要な道路である。本箇所は長岡京市立長岡第三小学校や京都府立向日ヶ丘支援学校の通学路であるが、歩道未整備のため、長岡京市交通安全プログラムで恒久的対策として早期に歩道整備が必要と位置づけられている。 本事業で歩道を設置し、事故減少や安心・安全な通学路空間の確保を図る。			
	内容	整備延長：L＝180m 現況幅員：W＝7.5（有効幅員、歩道なし） 計画幅員：W＝6.0（16.0）m 2車線、両側歩道 事業費：約3.3億円			
	上位計画等	明日の京都 山城地域振興計画			
	スケジュール	着手年度：平成30年度 完成目標：平成34年度			
事業の必要性	事業を巡る社会経済情勢及び地元情勢等	○自動車交通量 5,152台/日（H27センサス） ○自転車交通量 1,333台/12時間（H27センサス） ○歩行者交通量 799人/12時間（H27センサス） ○長岡京市立長岡第三小学校等の通学路であるが歩道未整備 ○観光名所である光明寺へのアクセスルートとなっており、通過交通に大型観光バスが混入			
事業の有効性	事業の効果及び費用対便益等	○歩道の設置により、通学児童を含む歩行者等の安心・安全を確保する。			
事業の効率性等	コスト縮減代替案立案等の可能性及び良好な環境形成・保全	○歩道設置に伴う掘削土を拡幅部の盛土に流用することによりコスト縮減を図る。また、二次製品の使用促進により、工期の短縮を行い地元負担の軽減を図る。 ○観光名所である光明寺へのアクセスルートであり、歩道整備による安心・安全な歩行空間を確保することで、市内観光の促進が期待できる。 ○地域観光で取り組んでいるレンタルサイクルの利用加速が期待できる。			
総合評価	本事業は、安心・安全な通行環境の向上を図るため新規着手の必要がある。				

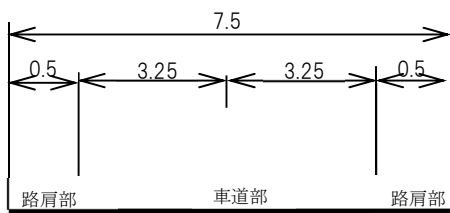


【広域位置図】

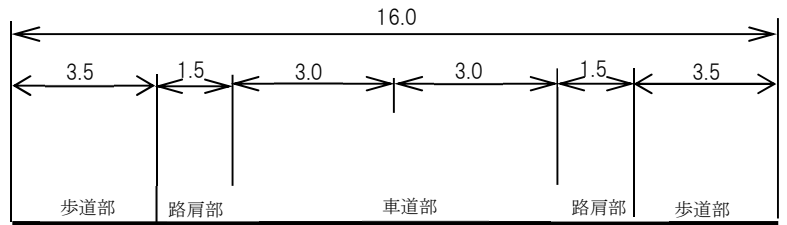


【位置図】

標準断面図 (改良前)



標準断面図 (改良後)



【現況・計画横断面図】 (単位m)



【現況写真】

『<sup>わ</sup>環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成30年 5月 10日		
		作成部署	建設交通部 道路建設課		
事業名	長法寺向日線防災・安全交付金事業		地区名	長岡京市今里地内	
概算事業費	約 3.3 億円		事業期間	平成30年度～年度34年度	
事業概要	長岡京市と向日市とを連絡する本路線は当該区間に歩道がなく、交通弱者にとってボトルネック状態であり、歩道整備により、交通の円滑化と安全性向上を図る。				
目指すべき環境像	現道沿線は耕作地でもあるため、周辺環境に配慮しつつ両側歩道の整備により、安心安全な道路空間の整備が必要がある。				
関連する公共事業	—				
評価項目		施工地の環境特性と目標		環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点		選定要否			
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO <sub>2</sub> 排出量等)		既存の耕作地の機能を保全しながら道路機能を高める必要がある。	拡幅改良により、影響のある農地へ進入路設置など機能補償工事も合わせながら実施する。	3
	地形・地質	○			
	物質循環(土砂移動)				
	野生生物・絶滅危惧種				
	生態系				
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	○	沿道には特別支援学校もあることから、歩行者が安全に利用できるよう工夫する必要がある。	バリアフリーに対応した歩道を整備し、必要に応じて横断防止策などの安全配慮施設を設置する。	4
	水環境・水循環				
	大気環境				
	土壌・地盤環境	○	耕作地への拡幅も想定されることから、地盤改良などが必要な場合には配慮が必要である。	現土壌環境を維持するため、改良材の使用はひかえて入替え工法の検討を行う。	3
	騒音・振動				
	廃棄物・リサイクル				
	化学物質・粉じん等				
	電磁波・電波・日照				
	その他				
地域個性・文化環境	景観		観光地である光明寺へ続く本路線は別名「光明寺道」とも言われており、工事中の観光客への配慮が必要である。	工事中は仮設歩道を設置するなど、工事中においても観光客に配慮した施工方法とする。	3
	里山の保全				
	地域の文化資産	○			
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働				
	その他				
外部評価					